

第8回 世界ラート競技選手権大会

2009年5月18～24日、スイス(バール)にて『第8回世界ラート競技選手権大会』が開催されました。日本からは選手(12名)・国際審判(1名)・コーチ(2名)が参加しました。今大会には過去最大の12カ国が参加し、多くの選手が日々の練習で切磋琢磨した演技を披露していました。

結果は以下の通りです。

Team Final

1	Germany	65.75
2	Netherlands	59.85
3	Japan	59.70
護得久(斜転・直転) 田村(斜転・跳躍) 高橋(跳躍) 湧田(跳躍) 江塚(直転) 森(直転)		



Vault Final Senior Men

1	Maaser Robert	GER	18.40
2	Clausen Christoph	GER	18.15
3	田村 元延	JPN	17.00
4	Bakker Leonhard	NED	15.55
5	高橋 靖彦	JPN	15.35
6	Looyen Boy	NED	14.75

Spiral Final Senior Men

1	Maaser Robert	GER	10.80
2	Malchin Constantin	GER	10.70
3	護得久 晋一郎	JPN	9.75
4	Looyen Boy	NED	8.80
5	de Bruin Jeroen	NED	8.75
6	江塚 和哉	JPN	8.35

Straight-line Final Senior Men

1	Maaser Robert	GER	9.85
2	Strauß Hendrik	GER	9.50
3	江塚 和哉	JPN	8.75
4	福原 一郎	JPN	8.65
4	Looyen Boy	NED	8.65
6	Meyer Remo	SUI	8.30



大会に参加したメンバーより大会の感想が寄せられていますので、紹介します。

🍒 筑波大学 本谷 聡 (国際審判員) 🍒

『大会を終え』

第8回目を迎えた世界大会。団体、3位銅メダル、そして個人で活躍された選手の皆さんにお祝い申し上げます。日本のラート技術の高さを世界に披露することができたのではないのでしょうか。IRV 会長からも「毎回、日本は良い選手が出てくるね」と言われました。

私は、第1回大会(1995)から選手やリーダー等の役割で参加してきましたが、今回、初めて国際審判員として参加しました。そのため、また違った角度から大会を見、感じることができました。それは、今やドイツに並びラート強豪国の仲間入りを果たそうとしている日本の役割です。世界大会は様々な組織や人の協力を得て、成り立っています。IRV、現地組織委員会、日本ラート協会、各国からの代表選手、コーチ、審判、スポンサー、そして今回は通訳のともこさんを含めて1000人を超える現地ボランティアのサポートがあって、あのような素晴らしい演技ステージが用意され、大会が実施されているのです。日本の特殊事情や日本におけるラートの状況は十分とはいえませんが、選手派遣を中心とした日本から、世界大会をさらに盛り上げるための役割を担える日本になればと強く望んでいます。

最後に、日本から選手団を応援していただいた皆様、そして何よりも今まで日本の代表として大会に出向き、世界のラート仲間と素晴らしい友好関係を築き上げていただいた諸先輩方に改めまして御礼申し上げます。



🍒🍒 ㈱毎日コミュニケーションズ 森 更紗 🍒🍒



『新たなスタート』

実は「甘ったれな私が、世界へ行って良いのだろうか。」と、悩むこともありました。それでも、周囲の支えのおかげで大会まで漕ぎつけ、その結果、直転で予想以上の点数とお褒めの言葉をいただきました。気がつけば、前回大会から確実に進化しています。そして、団体戦の銅メダルや、個人決勝一步手前で終わったことは、次回に繋がるエネルギーとなりました。まだまだ課題はたくさんあるので、これからも私は進化し続けます。そしてラート界に貢献できる人間になりたいです。今後ともご指導ご鞭撻お願い申し上げます。最後になりましたが、ご声援いただき、本当にありがとうございました。



🍒🍒 琉球大学 OG 美里高校 喜納 笑子 🍒🍒



私は大会直前にケガをしてしまい、当日まで出場してよいものなのかを悩みました。悩みながら浮かんでくるのは、本村先生の顔。先輩や後輩からの励ましの手紙。17名の日本チーム団…。このままでは笑顔で帰れない。本番は斜転のみに出場し、初めて「大減点なく最後まで通す」事ができました。

「ビッグサークルを作る」こと。「後輩に還元していくこと」が次の目標です。

この場をお借りして、いろいろな形で支えて下さっている皆様に…感謝申し上げます。

🍒🍒 筑波大学体操部 4年 江塚 和哉 🍒🍒

まず、無事に大会を終えて帰ってくることができたこと、念願であった種目別直転でのメダルを獲得できたことを報告するとともに、ご指導、ご支援、そして応援して下さいました方々に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

今回の大会は 自分にとって特に有意義なものであったように感じます。それは、単に目標が達成できたからだけではなく、次の目標が明確になり決意が固まった大会であったからです。今大会を通して、「ラート競技を続けたい！」と確かに胸に感じました。目標とするスイスの選手との約束を果たすため…ともに頑張り 支えてくれた大切な仲間との約束を守るため…そして、やっぱり自分は直転でつべんを獲得したいから…2年後、またあの舞台に立てるように頑張ります！！



🍒🍒 琉球大学 院1年 達野 なるみ 🍒🍒



今回の大会では世界トップレベルの演技を見ることができ、かつ自分の演技を多くの方に見ていただくという貴重な経験ができました。また、私の結果は予選敗退という結果でしたが、楽しく演技することができました。

これもあらゆる形で私や日本チームを支えていただいた多くの方々のおかげだと思います。本当にありがとうございました。

これからは今回の大会などで得た経験を周りの人に伝え、ラートをする人をサポートする側としてラートと関わっていきたいと思います。

🍒🍒 ㈱ベネッセコーポレーション 高橋 靖彦 🍒🍒

『感情全て』

初めての世界選手権はあっという間に終わってしまい、今では遠い昔のような気がしています。そして今回の出場に際して、とても多くの方々に支えられていたことを、噛締め直しています。本当にありがとうございました。試合結果は、私に様々な感情を芽生えさせました。喜怒哀楽を含め、快感や悔しさなど、感情という感情が心を揺さぶり続けています。それらをきれいに整理するのは難しいですが、「ラートが好き」という気持ちが真ん中にあることを感じながら活動を続けていきたいと思っています。今後もよろしく願い致します。



🍒🍒 筑波大学体操部 院1年 田村 元延 🍒🍒



今回、2度目の世界大会となりましたが、やはり世界の舞台は最高でした。多くの観客の中で演技をすることが本当に楽しく感じました。目標としていた跳躍の2連覇は果たすことは出来ませんでしたが、内容的には前回大会よりもよく、自分自身の成長を感じることができました。これからも、2年後を目指して練習に励み、ラートと共に歩んでいきたいと考えております。最後になりましたが、このように無事に大会を終えられたのも多くの方々のご支援、ご声援があったからです。本当にありがとうございました。

🍒🍒 (有)グリーンノートミュージック 坂田 知瑞子 (コーチ) 🍒🍒

『世界大会を通じて』

皆さんこんにちは。今回、私はコーチという立場で世界大会に参加させていただきました。

初めて世界大会を生で観戦し、得る物がたくさんありました。競技はもちろん、会場の雰囲気や選手をサポートすることが、私にとって非常にいい勉強となりました。このような素敵な経験をさせていただいたことに感謝申し上げます。

最後になりましたが、様々な援助をしていただきました皆様とラート協会の方々にチームの一員として厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。



🍒🍒 筑波大学体操部 OG 吉田 望 🍒🍒

『ラート人生の分岐点?!』

「ニッポン チャチャチャ(拍手)ニッポン チャチャチャ(拍手) う~ オイツ!!」 日本の応援コールが会場内に大きく響き渡る。



会場にはたくさんの日本の国旗を振る日本人とスイス人。フロアから見た観客席は今までに見たこともない光景でした。そして、世界選手権という最高の舞台にまた戻ってこれた、という喜びを全身で感じ、演技ができました。決勝進出という大きな目標は達成できませんでしたが、一生忘れることのない幸せな時間でした。応援して下さいました多くの皆様、ありがとうございました。

今後はラートパフォーマーとしてラートの魅力をたくさんの人に伝える活動を勢力的に行っていく予定です。皆さんご期待下さい！

🍒🍒 琉球大学 2年 湧田 舎大 🍒🍒

世界大会は多くの刺激を、情報を与えてくれました。大会は雰囲気、選手、技術、想像以上でした。技のキレ、始めて見た技、自分にとって未知の世界でした。

世界に出たことで大会前よりももっとラートをしたい色々な技に挑戦したい、完成度を高めたい、多くの課題を見つけられました。また、大会で受けた刺激をみんなに伝え技術の向上につなげたいと思いました。

今大会で、自分は多くの失敗もありました。しかし、今まで以上に思いっきり楽しく演技することができました。それは、大会でサポートしてくれた仲間、先生、コーチそして応援してくれた皆さんのおかげです。ありがとうございました。大会に出たことで、もっとラートが好きになった気がします。



🍒🍒 中京大学ラートサークル 4年 堀場 みのり 🍒🍒



『初めての世界選手権』

初めての世界選手権、どこか初めての海外で最初は不安だけでしたがたくさんの方に支えられ、世界選手権で振り返り、今、これまでお世話になったみなさんに感謝の気持ちでいっぱいです。

たくさん感動と向上心を忘れず、試合の反省もしながら、これからもラートを楽しんでいこうと思います☆応援ありがとうございました！

🍒🍒 筑波大学体操部 院2年 福原 一郎 🍒🍒

『世界大会・初出場』



私が1年生のとき、某先輩の部屋で世界大会の映像をよく見せてもらっており、それ以来世界大会は自分にとって憧れの舞台になっていました。ラートを始めて6年目にしてその舞台に立てたことをとても嬉しく思っています。

個人の成績としては個人総合で10位、決勝に進んだ直転で4位という結果でした。直転決勝で大きなミスをしてしまい、メダルには届きませんでしたが、演技の芸術性を評価する音楽点で1.85という高得点を出すことができ、多くの方からよい評価を頂きました。大会前にNHKの取材で公言した「皆の思い出に残るような演技」という目標は達成できたと自負しております。そして、次こそは！という大きな目標が生まれました。

最後になりますが、日本から応援して下さった皆様、大会の運営に関わって下さった皆様に心からお礼を申し上げたいと思います。本当にありがとうございました。



🍒🍒 東海大学 OB・OG 松本 陽一 (コーチ) 🍒🍒

今回私は世界大会の練習時間をとることができず、選手としての出場権を譲りコーチとして初参加させて頂きました。

選手だった時よりも気が楽だと思っていたのですが、いざ大会で補助をすると、選手よりも緊張しているのではないと思うくらい緊張していました。名コーチ振りを発揮するにはこれくらい緊張してはいかん！と思いましたが、演技前の準備のサポート・難度点の確認など至らぬ点が多くあったと思います。全日本代表のコーチとして参加するにはもっと大会のルールや規則を熟知し、語学も出来なければならないと反省しました。貴重な経験ができ、良い勉強にもなったので、今回の反省を活かし今後の発展につながるようにしたいと思います。

大会をサポートして下さいました方々や日本で応援して下さいました方々、本当にありがとうございました。



🍒🍒 (株)オリエンタルランド 但馬 絵美子 🍒🍒



皆さん、こんにちは。スイスより元気に戻って参りました！

今回は自分にとって3回目の世界大会。会議に参加したり、IRV(国際ラート連盟)役員とコンタクトをとる事が多く、今までとは異なる視点で大会に参加したように思います。強く感じた事、それは“国内外問わず、多くの人に支えられて大会が成り立っている”という事。

会場では IRV 役員やボランティアなど、数多くの方が大会運営に関わっている姿を見る事ができました。また、食堂のシェフ・審判員・観客、自分が思ってもみなかった人までが選手を気遣ってくれ、本当に温かい大会でした。このような素晴らしい大会に参加できたのは、一緒に練習しているメンバー・試演会にて応援して下さいました方々・そして家族、皆さんのおかげです。

いつか、皆さんと一緒に、日本で開催される世界選手権大会の運営に関われれば… そして、その大会が選手の心に残るものになれば… このような気持ちを多くの方と共有できるよう、日々のラート活動を行いたいと思います。

🍒🍒 琉球大学 OB 護得久 晋一郎 (チームリーダー) 🍒🍒

今回もまた、多くの笑顔と多くの涙を見てきました。私自身にも笑顔と涙がありました。選手それぞれの大会にかける想いが大きいからこそ、多くの感極まる瞬間に出会えたのだらうなと思っています。おそらく先にも後にもないであろう、世界でたった1つのチームで、リーダーという仕事をいただけたこと、とても光栄に思っております。

初めて琉球大学から離れ、練習はうまくいかないことだらけでしたが、今回もまた多くの温かな気持ちに支えられて幸せな時間を過ごすことができました。本当にありがとうございました。言葉にしきれない感謝の気持ちは、いつかまたどこかの会場で言葉にして、行動にしてお返ししていければと思っております。



Special thanks!!!



今大会、国内外で多くの方々が日本代表チームを支えて下さいました。ありがとうございました。



Tomoko Landolt さん(写真中央)

現地での通訳・様々なアレンジ、全てボランティアで行って下さいました。また、ご親戚・ご友人を数多くお誘い頂き、大きな声援を送って下さいました。



菊地海華さん



喜屋武諒子さん

千羽鶴を持って日本チームに同行してくれた、琉球大学のお二人です。

☆試演会(2009年4月26日東京藝術大学にて)

試演会にたくさんの方がお集まりいただき、選手へ激励のお言葉を賜りました。ありがとうございました。

☆「あたたかいご支援をありがとうございました。」

この度、第8回世界ラート競技選手権大会日本代表チームのために、あたたかい応援金を賜りましてありがとうございました。ここに申し上げます。

～ ご支援いただいた方 ～

田村千佳子様、加藤和子様、金井彩陽子様、六鹿弘子様、檜皮貴子様、本村三男様・みどり様、田村憲一様、大類弘子様、大島林子様、長谷川聖修様、安西映子様、吉田由美様、西井陽平様、吉川泰昭様、太田資則様、押田洋之様



春季ラート実技講習会

2009年3月末日、筑波大学にて『春季ラート実技講習会』を行いました。学生対象・一般対象ともに、多くのラート協会会員が集い、実りある講習会となりました。



一般対象(2009年3月21~22日)



学生対象(2009年3月28~29日)

また、今後も大会・講習会など催しが沢山ありますので、ぜひご参加下さい。



【夏の予定】

◎ 講習会

- ・ 8月1~2日 第1回ラート実技講習会(一般対象)
- ・ 8月17~18日 第2回ラート実技講習会(対象者限定)
- ・ 8月29~30日 第3回ラート実技講習会(学生対象)

筑波大学総合体育館体操場にて

◎ 第5回全日本学生ラート競技選手権大会

- ・ 8月15日 開会式・規定演技の部
- ・ 8月16日 自由演技の部・閉会式・表彰式

つくばカピオにて



【事務局便り】

◎ 「第8回世界ラート競技選手権大会」の映像販売のお知らせ

1式 3,150円+送料 ご注文の際に形式をご指定下さい。(DVD または VHS)

《お問い合わせ先: 日本ラート協会》
〒187-0023 東京都小平市上水新町2-27-30
電話: 042-349-2024 FAX: 042-349-2524



【編集後記】

暑い日々が続いていますが、皆さん、いかがお過ごしでしょうか。
今回は世界大会の報告をさせていただきました。選手団は、ここだけでは伝えきれないほどの感動を持ち帰っているはず。ぜひ直接お土産話を聞いてみて下さい。『次は一緒に参加したい!』きっと皆さんこう思うはず。これから暑さが増してきますので、練習の際には水分補給などしっかり行い、体調管理に気をつけて下さいね。

ラート協会広報部会 但馬 絵美子